



「大学入学共通テスト」 第2回試行調査（プレテスト）について

2020年度から始まる大学入学共通テストに向けて、11月10日・11日に、平成30年度試行調査（プレテスト）が実施されました。

ここでは、弊社教材に関わりのある国語・英語について、今月号・来月号と2回にわたって、簡単にお伝えします。

【国語】

第2回プレテストを第1回プレテストと比較すると、出題される本文には以下のような変更点がありました。

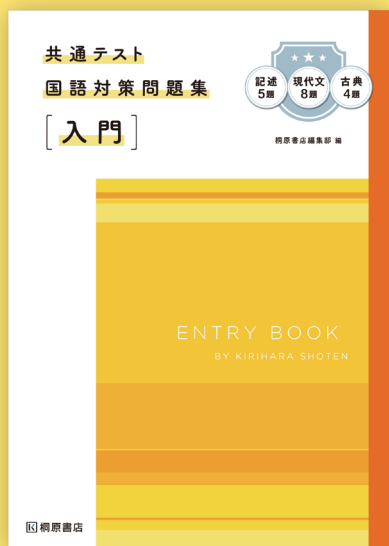
- 1 第1問の記述式問題の本文に、実用的な文章ではなく、論理的な文章同士の組み合わせが出題された。
- 2 第2問の本文に、実用的な文章と論理的な文章の組み合わせが出題された。
- 3 第3問の本文に、小説ではなく、詩+エッセイが出題された。

本文の傾向が変わるといえるのは大きな変化ですが、上記の3点については今後必ずこのような形となるというわけではなく、あくまでこうした出題も考えられるというパターンを示したもののようです。これにより、第1回と第2回のどちらのパターンでの出題も考慮に入れておく必要があるということになります。

これまでのセンター試験国語は、本文の長さが大きな特徴の一つでした。この特徴から、センター試験は、短い時間で長い本文を読解する力が求められる試験だと言うことができました。しかし、第2回プレテストの本文は、従来のセンター試験と比べるとかなり短いものになっていました。第1回プレテストと比べても2000字ほど短くなっていると発表されています（古文・漢文の文字数は従来のセンターとそれほど変わらない量でした）。どちらのプレテストにも共通する特徴は、複数のテキストを配置していることです。これはプレテストの前に発表されたモデル問題から一貫して行われていることなので、実際の共通テストでも同様に出版される可能性が高いと思われます。つまり、共通テストは、（比較的短い）複数のテキストを行き来して共通点や差異を読み取る力、また、テキストに対する他者の意見や推論を読み取る力などが求められる試験になると考えられます。

待望の「共通テスト」対策問題集新刊!!

「共通テスト国語対策問題集 [入門]」



(35013-9)

大学入学共通テスト対策の

第一歩目

となる問題集

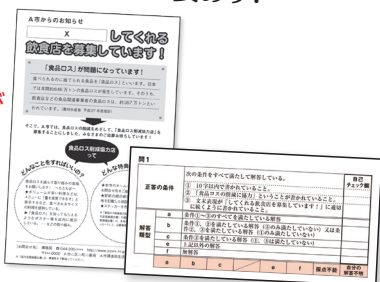
税込定価 594円(550円)

- 解説・解答書
- データダウンロード
- 「きりはらの森」対応

記述 5題 現代文 8題 古典 4題

➔ 記述そのものだけでなく、
「自己採点」にも慣れる必要あり!

記述式の問題は、
解くだけでなく、
解いた後の
自己採点までをセットで学ぶ
必要があります。
本書では、記述式問題に
「自己採点コーナー」を設け、
自分の解答がどのような
評価になるのか知るための
トレーニングができます。



特長3
●共通テストを知る難易度設定!
高校1、2年生がまず共通テストの特徴を「知る」
「慣れる」ことのできる設問レベル。
取り組みやすい2部構成。

特長2
●複数の本文からなる問題に対応!
記述式問題はもちろん、評論問題においても、
読み比べが必要となる問題を配置。

特長1
●記述式問題・自己採点に対応!
記述式問題の題材は、身近な高校の話題から、
社会の問題に触れられるように配置。

➔ 複数の本文、
読み比べに慣れるための
「本文整理ワーク」!

共通テストでは、
複数の本文のそれぞれをしっかりと読み取るだけでなく、
それらを
比較し、関連させながら読む
必要があります。
本書では、複数の本文を
「本文整理ワーク」で
まとめてから設問に取り組むことで、
共通点や相違点を見出すことができます。

